



あさり姫プロジェクト@榎野川河口干潟

2017-2018



榎野川河口域・干潟自然再生協議会
環境学習ワーキンググループ



1 活動目的

『あさり姫の館』は、徳島県の「沖洲海浜楽しむ会」が考案した、竹を有効活用したアサリ育成の方法です。竹の中のアサリをかくや姫に見立て、この名前が付けられました。

活動を通じて、森と海で生じている環境問題や、そのつながりの大切さ、アサリなどの干潟の生き物について学ぶことを目的としています。

2 第1回目の開催概要（あさり姫の館の作成・設置）

- 日 時：2017年7月22日 10:00～15:00
- 主 催：榎野川河口域・干潟自然再生協議会 環境学習ワーキンググループ
協 力：竹林ボランティア山口、株式会社伊藤園山口支店、水産大学の学生
- 場 所
竹の加工：山口県立きらら浜自然観察公園
あさり姫の館の設置：南潟（山口湾）
- 参加者：参加者9グループ 29人、スタッフ21人
- 内 容：あさり姫の館の作成と設置。



3 あさり姫の館の作り方

榎野川上流の仁保で採った「孟宗竹」を使用。

竹の中にアサリ稚貝（1cm未満）100～300個を入れ、干潟に設置した。

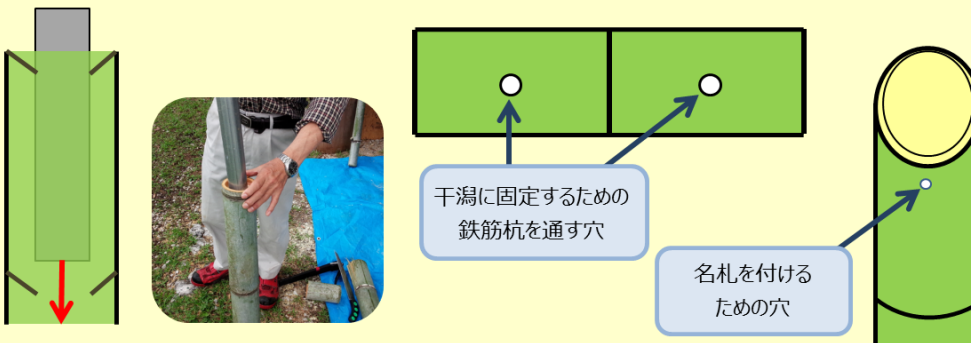
① ノコギリで両端を切る。



<注意>
フシの外側を切る

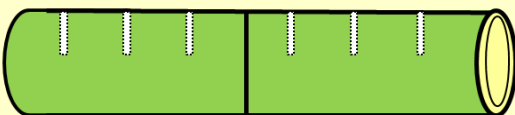
② フシをやぶる。

③ 電動ドリルで大きな穴を2か所、小さな穴を1か所空ける。

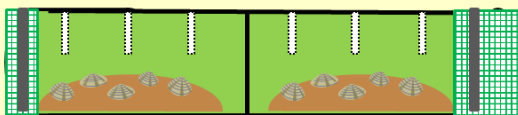


④ ノコギリで溝を入れる。幅1～2mm

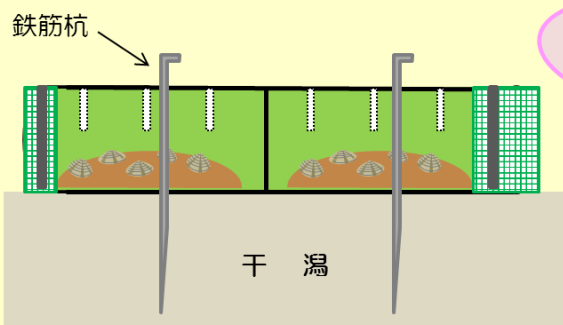
海水を入れるための溝



⑤ 中にアサリの稚貝を入れ、館の両端にネットを付け、結束バンドで固定する。



⑥ 鉄筋杭で干潟に固定し、設置場所を記録する。



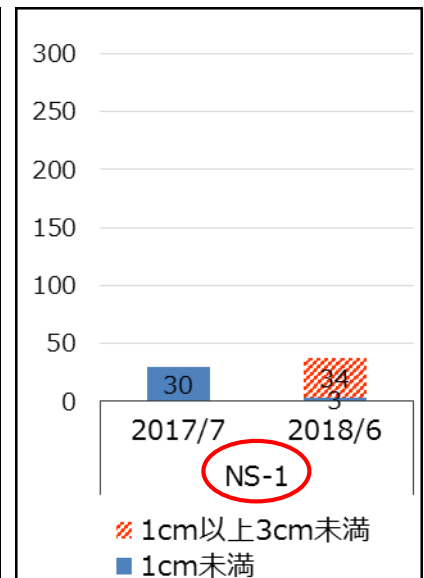
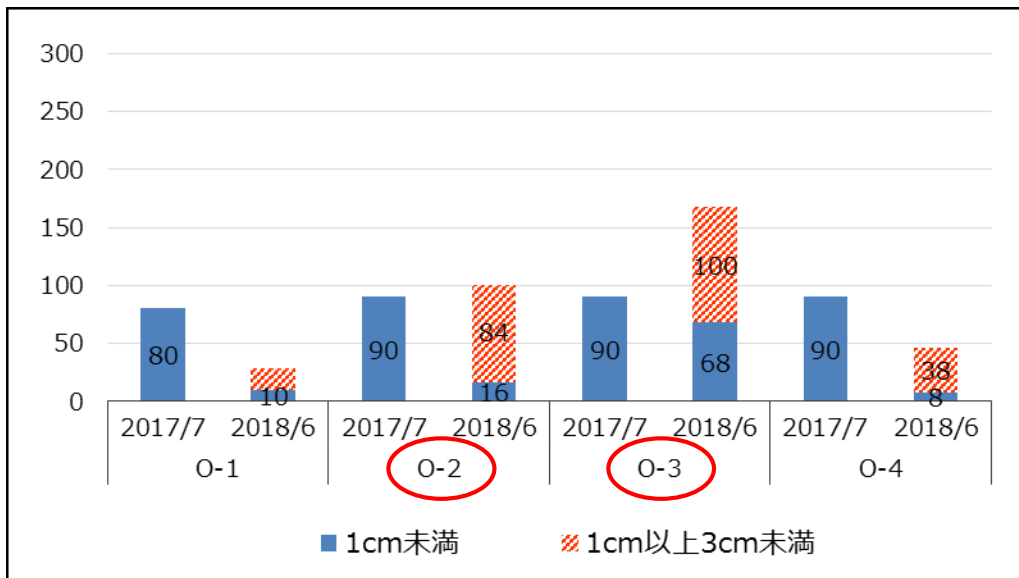
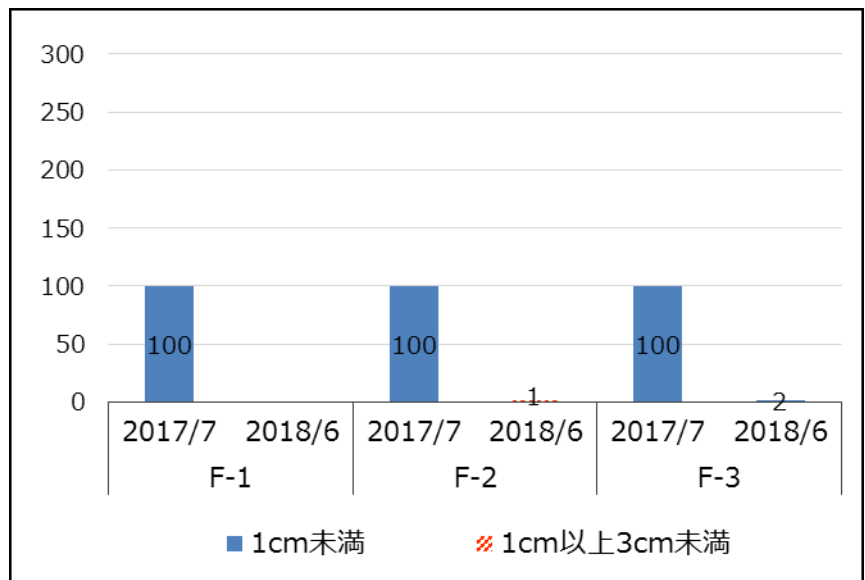
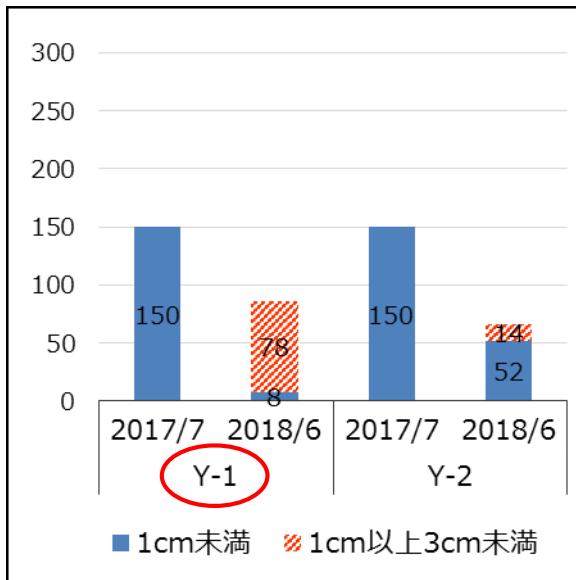
完成

4 第2回目の開催概要（設置から1年後の観察）

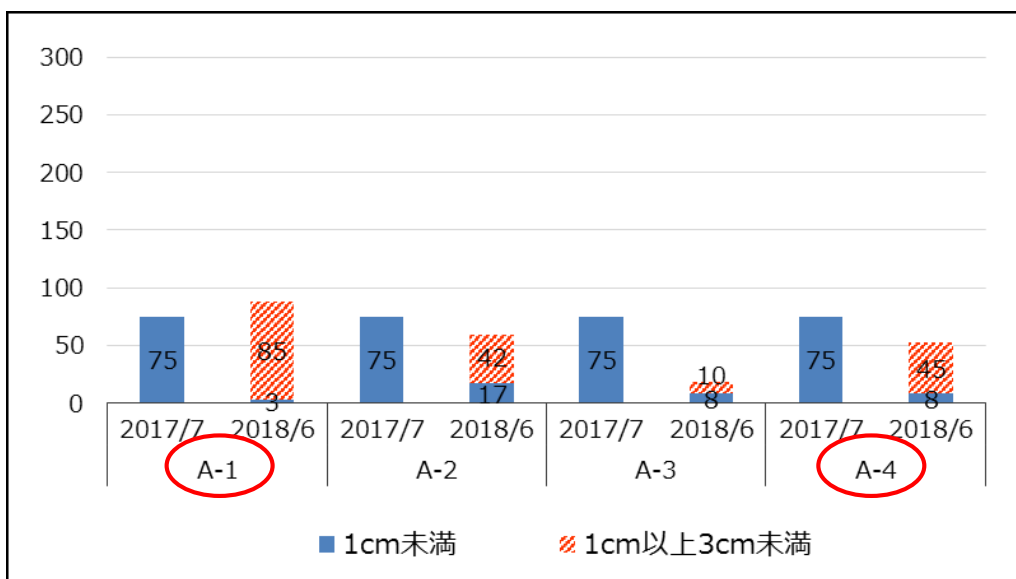
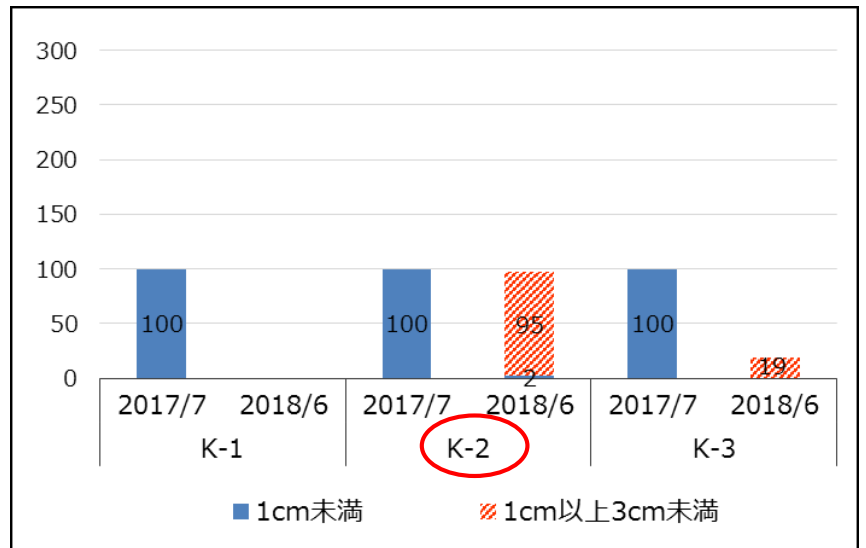
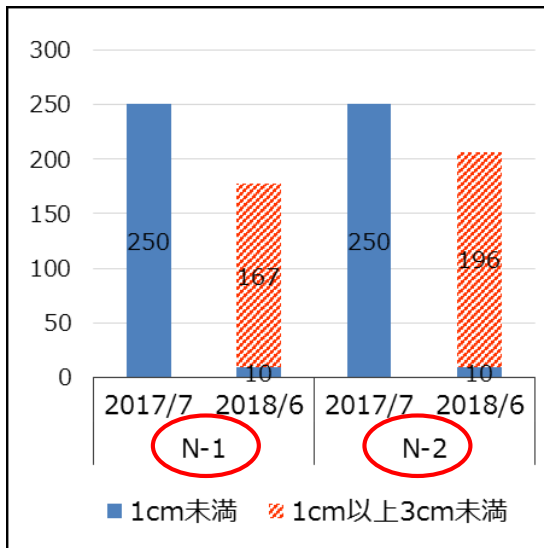
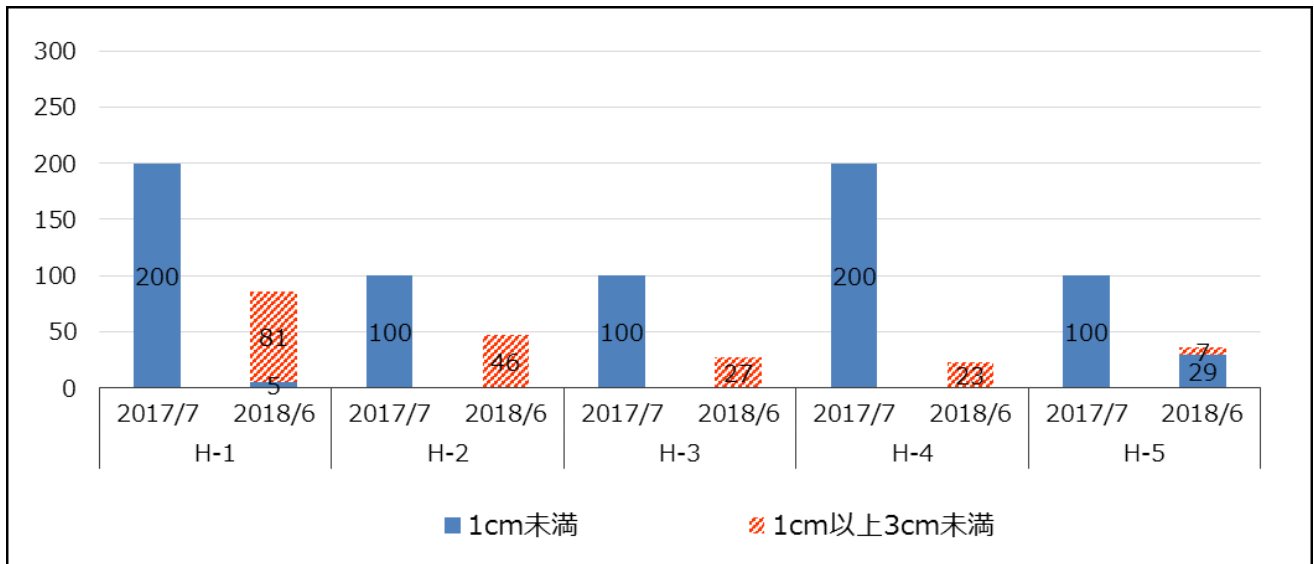
- 日 時：2018年6月16日 14:00～16:30
- 主 催：榎野川河口域・干潟自然再生協議会 環境学習ワーキンググループ
協 力：株式会社伊藤園山口支店
- 場 所：南潟（山口湾）
- 参加者：第1回目の参加者：6グループ 20人、スタッフ：12人
- 内 容：1年前に設置したあさり姫の館内のアサリの成長観察を行いました。

5 アサリの成長結果（設置から1年後）

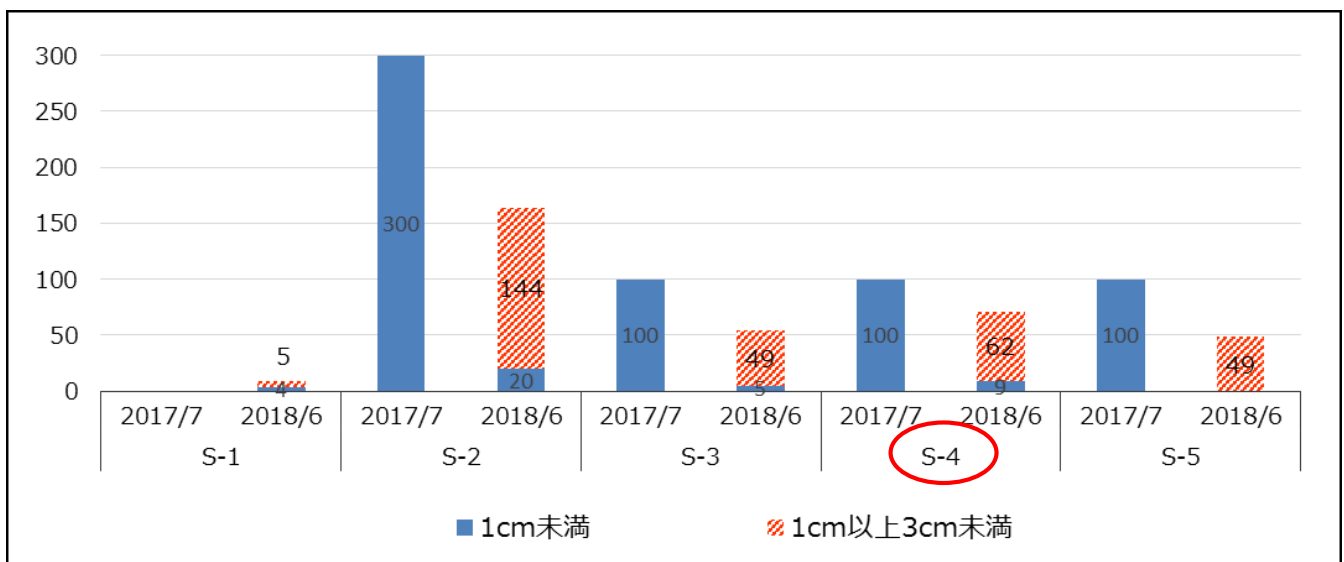
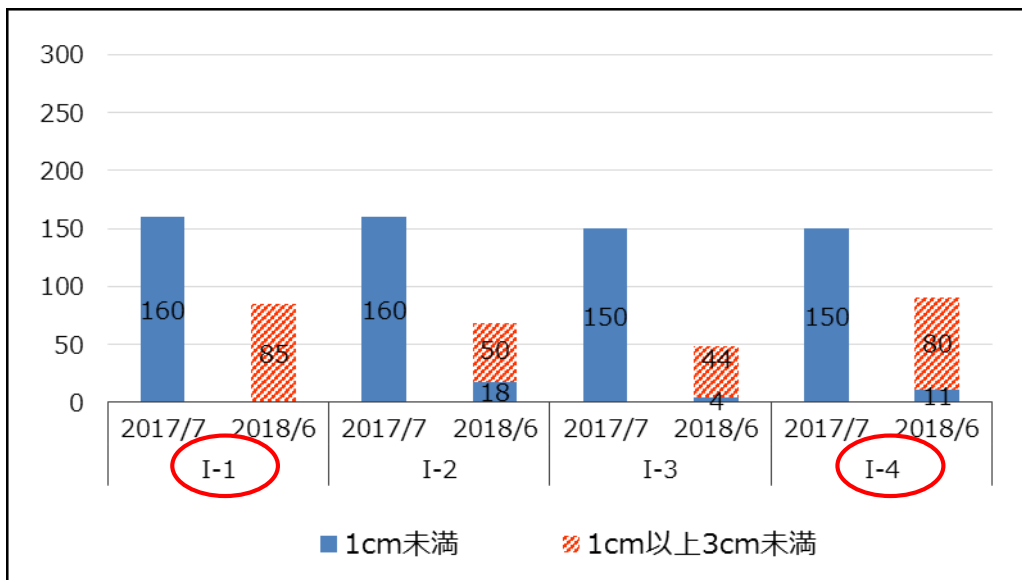
- ・各あさり姫の館内のアサリの個数・大きさは、グラフのとおりでした。
設置時に投入したアサリの稚貝は、1cm～2cm程度に成長していました。また、新たな幼生の着底がみられ設置時よりも個体数が増加している館もありました。
- ・しかし、一部の館では、ネットが破れ、カニなどの食害を受けた様子でした。
- ・あさり姫の館の構造や設置場所の違いなどにより、大きさ・個体数に明確な差はありませんでした。



○ 設置時に投入した稚貝の50%以上が、1年後に1cm以上に成長した館



○ 設置時に投入した稚貝の50%以上が、1年後に1cm以上に成長した館



○ 設置時に投入した稚貝の50%以上が、1年後に1cm以上に成長した館